

明治初期の教科書

明治初期の初等教育の教科書のなかには、外国の本を基にしてつくられたものが多数あった。53～65はこれに関係する資料である。

53	博物新編補遺		
	K087-6, K700-10	明治2年(1869)	W. and R.Chambers原著 小幡篤次郎訳
	明治初年に広く用いられた自然科学の教科書。上中下の3巻からなる。		

- ◆ 原著はWilliam Chambers(1800-1883)とRobert Chambers(1802-1883)兄弟の“Introduction to the Science”(1861)である。「凡例」に「此原書ハ英国の士『チャンブル』所著『イントロダクション、ツ、ゼ、サイアンス』ト云フ書ニテ」とある。

上巻は天文・物理、中巻は物理・気象、下巻では動植物人体から人生論が扱われている。日本最初の、科学全般にわたる入門書としてその価値は高い。本書は明治5年文部省の「小学教則」中に「理学輪講」用のテキストとして挙げられている。

訳者の小幡篤次郎(1842-1905)は福沢諭吉と同じ中津藩出身。福沢に抜擢されて江戸に出て、後に慶応義塾の塾長となるなど、福沢の片腕的存在となった。著書は多く、有名な『学問ノススメ』も福沢との共著のかたちになっている。科学関係では本書の他に『天変地異』(本書同様、明治初年の教科書として利用された。K700-57)、『船用汽機新書』『生産道案内』がある。

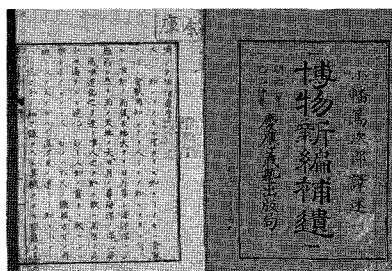
- ◆ 当館は本書を2部所蔵している。それぞれ「浜松瞬養学校之印」(K087-6)、「柏原文庫」「静岡市教育会」(K700-10)の印記をもつ。

54	Introduction to the Sciences		
	A E-39	1867	W. and R.Chambers著
	『博物新編補遺』の原本となった本。自然科学の入門書。		

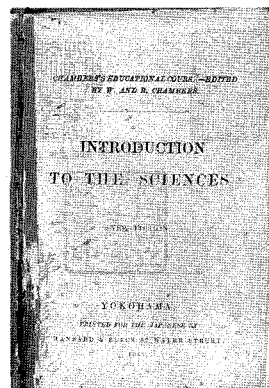
- ◆ 17×11cm、169ページの小形本。Chambersの他の著作がロンドンから出版されていることから、彼等は英国人であると思われる。

- ◆ 当館所蔵本は標題紙に「YOKOHAMA, PRINTED FOR THE JAPANESE BY HANSARD & BLACK 37 WATER STREET.1867」とあり、日本で出版されたことがわかる(詳細は「慶応3年版理学入門に就いて」を参照)。「惑星としての地球」の項の一部(13ページ)に鉛筆で訳語が書き込まれている。「開成所」「静岡学校」の印記をもつ。

<参考資料> 『日本教科書大系 近代編』第21巻(375.9-118) 『日本科学技術史大系』第8巻(502.1-4) 『明治前日本物理化学史』(420.2-3) 「慶応3年版理学入門に就いて」(『葵文庫ト其事業』50号 所収)(SZ01-12)



53 博物新編補遺



54 科学入門